tv asahi

テレビ朝日ホールディングス

第82期　中間報告書

2021年4月1日 ► 2021年9月30日

証券コード：9409

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第82期の中間報告書をお届けします。

当中間期も新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の影響で、毎年恒例の「夏祭り」の開催を見送るなど大きな影響を受けました。その一方、前年同期に大きく落ち込んだテレビ広告市況のリバウンドがあったことに加え、各種増収策の積み上げや適切なコストコントロールに努め、連結売上高1,436億1千8百万円（前年同期比＋21.7%）、経常利益113億6千8百万円（同＋166.1%）と大幅な増収増益を達成することができました。

コロナ禍のなかでも、経営計画「テレビ朝日360° 2020-2025」を前進させていくため、テレビ朝日の収益部門を一体で運用するために新設した「ビジネスソリューション本部」を中心に様々な施策を機動的に実行したことが結果につながりました。巣籠り需要を取り込みながら、ショッピング事業を拡大できたことなどは大きな成果の一つです。

今後コロナ禍が収束しても、人々のデジタルシフトによりテレビ局を取り巻く経営環境は厳しいものとなることが見込まれます。一方、デジタル化の進展は、インターネットを中心に「コンテンツ」の重要性や需要が高まる大きなチャンスでもあります。当社グループが築いてきた“ものづくりネットワーク”をフル活用し、放送はもちろんのこと、インターネットからリアルエンターテインメントまで、魅力的なコンテンツを幅広く制作、お届けする「新しい時代のテレビ局」へ進化してまいります。

インターネットでは、毎月定額で多様なコンテンツをお楽しみいただける動画配信サービス「TELASA」や、生活インフラとしても定着してきているインターネットテレビ局「ABEMA」、見逃した番組を見ることのできる「テレ朝キャッチアップ」（TVer等で提供）など、幅広く事業を展開しています。利用者の皆様のニーズに応え、サービスを強化するため、2022年の年明けからは「TVer」で地上波放送のリアルタイム配信サービスの提供を開始する予定です。

また、リアルエンターテインメント分野強化のため、昨年、臨海副都心の有明地区に土地を取得しました。新たな情報発信基地とするべく、詳細な建設計画及びビジネスプランを策定中です。本社のある六本木を拠点に、複合型のエンターテインメント事業を展開していく計画です。是非ともご期待ください。

こうした企業価値向上の施策を盤石なものとする基盤強化のため、サステナブルに関連するグループ横断での取り組みも加速させていきます。この12月には、テレビ朝日ホールディングス及びテレビ朝日に新組織「SDGs推進室」を設置しました。サステナブル・SDGsに関する諸施策や情報発信の強化を図っていく方針です。

今後も末永く視聴者やお客様から必要とされる企業であり続けられるよう、変化を恐れずに果敢なチャレンジを続け、株主の皆様のご期待に沿えるよう尽力してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

2021年12月

代表取締役会長・CEO

早河 洋

特集

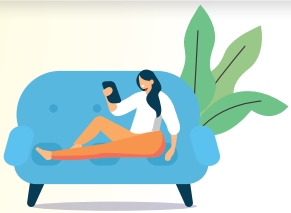
地上波放送のリアルタイム配信開始!

～デジタル時代のテレビコンテンツの取り組み～

メディア接触の機会がテレビからスマートフォン等へとシフトするなか、視聴者のコンテンツへの接触環境は大きく変化しています。これまでテレビ朝日では、スポーツ中継や災害報道のリアルタイム配信を単発で実施することでノウハウを蓄積してまいりました。著作権法改正などの環境整備が図られてきたことも踏まえ、民放テレビ局が連携した公式テレビポータルサイト「TVer」での一部番組のリアルタイム配信サービスを開始いたします。

リアルタイム配信をおこなう目的

- デジタルデバイス上でのテレビサービスを実現し、視聴者へのリーチを確保
- 利便性を向上させたサービスによる新たなターゲット層の獲得
- 番組接触率の低下を防ぎ、テレビコンテンツの価値向上を図る



今後の予定

- 2022年1月頃より サービス開始を予定
- 配信対象番組はプライム帯を中心としたラインナップを検討

より便利により新しく、これからのテレビ体験にご期待ください！

連結業績ハイライト

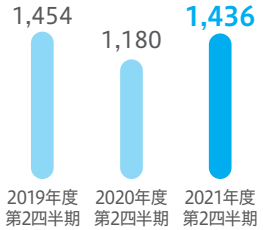
タイム・スポット共に大幅増収、テレビ広告市況が回復！
視聴率も各区分でトップグループを維持しております。

新型コロナウイルス感染症の影響により日本経済は依然として厳しい状況が続いておりますが、テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量がコロナ禍で低迷した前年同期を大きく上回り、好調に推移しました。

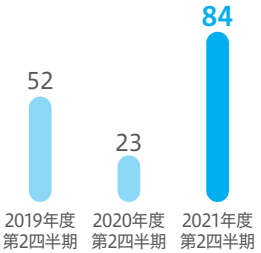
こうした経済状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は、テレビ放送事業におけるタイム収入、スポット収入の大幅な増収に伴い1,436億1千8百万円（前年同期比＋21.7%）となり、営業利益は84億3百万円（同＋262.6%）、経常利益は113億6千8百万円（同＋166.1%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては76億7千3百万円（同＋170.4%）となりました。

		2019年度		2020年度		2021年度	
		第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期（予想）
売上高	（億円）	1,454	2,936	1,180	2,645	**1,436**	**3,000**
営業利益	（億円）	52	125	23	144	**84**	**170**
経常利益	（億円）	73	320	42	179	**113**	**200**
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	（億円）	45	263	28	126	**76**	**170**
総資産	（億円）	4,513	4,475	4,430	4,737	**4,890**	**—**
純資産	（億円）	3,570	3,525	3,616	3,761	**3,916**	**—**
営業活動によるキャッシュ・フロー	（億円）	116	245	130	205	**130**	**—**
投資活動によるキャッシュ・フロー	（億円）	△78	△164	△84	△79	**△114**	**—**
財務活動によるキャッシュ・フロー	（億円）	△37	△98	△25	△82	**△21**	**—**
1株当たり配当金	（円）	中間20	期末20／通期40	中間20	期末20／通期40	**中間20**	**期末20／通期40**
配当性向	（%）	—	16.1	—	32.8	**—**	**23.9**

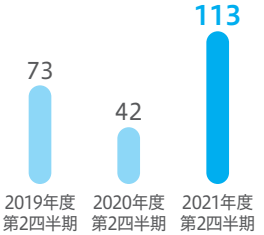
売上高（億円）



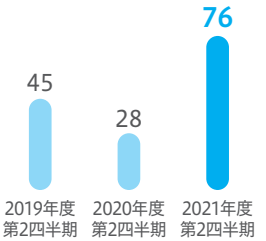
営業利益（億円）



経常利益（億円）



親会社株主に帰属する四半期純利益（億円）



ホームページのご案内

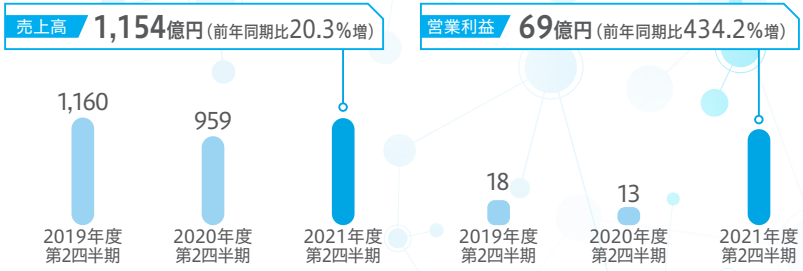
テレビ朝日 IR 検索 https://www.tv-asahihd.co.jp/IR/

当社IRサイトでは、決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料など、株主・投資家の皆様のための情報をご覧いただけます。

事業別売上高、営業利益はセグメント間取引調整前のものです。

TV

テレビ放送事業



2021年度上期の平均視聴率は、全日視聴率（6時～24時）では個人全体3.8％で2位、世帯7.3％で1位、ゴールデンタイム（19時～22時）は個人全体5.7％で民放2位、世帯では10.2%で2位、プライムタイム（19時～23時）では個人全体5.8％で2位、世帯10.4%で1位となり、各区分においてトップグループの視聴率を維持しております。

報道番組では、「報道ステーション（上期平均個人6.7%世帯12.3%）」、「サタデーステーション（上期平均個人6.2%世帯11.2%）」、「サンデーステーション（上期平均個人5.5%世帯10.0%）」とプライム帯報道ベルト番組がコロナ禍の視聴者ニーズに応えて堅調に推移し、特に「サタデーステーション」は初の同時間帯トップを獲得しました。

バラエティー番組では、「ザワつく!金曜日（上期平均個人8.2%世帯14.5%）」と高い視聴率を記録しました。

連続ドラマは、各クールとも安定した視聴率を獲得し、「特捜9（上期平均個人7.2%世帯13.2%）」、「緊急取調室（上期平均個人6.7%世帯12.2%）」、「警視庁・捜査一課長（上期平均個人6.5%世帯11.9%）」などが民放連続ドラマ上位の視聴率となりました。

また、史上最高のメダルラッシュとなった東京オリンピックでは「ソフトボール女子決勝 日本×アメリカ」や「陸上男子400mリレー決勝」などを放送し、20時間以上に渡る長尺中継も実施。多くの名勝負・名場面をお伝えしました。

「報道ステーション」
毎週月～金曜日 よる9時54分から放送

「サタデーステーション」
毎週土曜日 よる8時54分から放送

「サンデーステーション」
毎週日曜日 よる9時から放送

続きは次ページをご覧ください。

事業別活動報告

なお、テレビ広告市況におきましては、スポット収入は前年同期に低迷した東京地区の広告出稿量が反動増となったことなどから大幅な増収となりました。業種別では、「外食・各種サービス」「情報・通信」「飲料・嗜好品」など多くの業種で増収となりました。

タイム収入は、「東京オリンピック」「世界フィギュアスケート国別対抗戦 2021」「全英オープンゴルフ」などの単発番組により、増収となりました。

「ザワつく！金曜日」
10月より毎週金曜日
よる6時50分から放送中

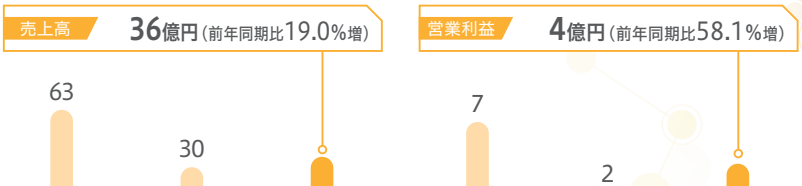
「緊急取調室」
2021年7月～9月放送

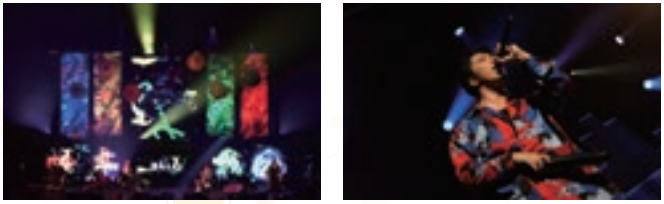
「特捜９」
2021年4月～6月放送

「警視庁・捜査一課長」
2021年4月～6月放送

音楽出版事業

前年同期は新型コロナウイルス感染症の影響により、所属アーティストのコンサートツアーを含む音楽イベントの開催を見送ったものの、当期は会場の人数制限のもと「湘南乃風」及び「ソナーポケット」が全国ツアーを実施したことなどにより、増収増益となりました。



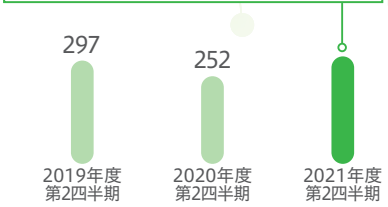


「湘南乃風」「ソナーポケット」全国ツアー実施！

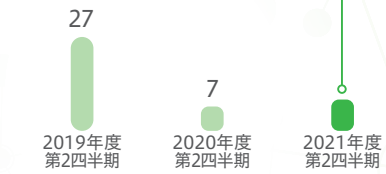
その他事業

通販番組「じゅん散歩」が引き続き好調な視聴率を維持していることに加え、通販特番「坂上くんが試してみた!!」や「今田耕司★ヒットの世界」が好評を博し、ショッピング事業が増収となりました。また、前年同期における大型イベントの中止・延期の反動増によりイベント事業が増収となったほか、インターネット事業も好調に推移しました。この結果、その他事業においては増収増益となりました。

売上高 309億円（前年同期比23.0%増）



営業利益 9億円（前年同期比29.7%増）



通販特番も大好評！

視聴率好調で、ショッピング事業の増収に貢献！

「じゅん散歩」
毎週月～金曜日 あさ9時55分から放送

▶▶ 株主様向け優待についてのお知らせ

当社では、テレビ朝日グループの事業内容を株主様に広くご理解いただく一環といたしまして、毎年3月31日時点の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上お持ちの株主様を対象に、「題名のない音楽会」の収録見学、および、本社ビル施設の見学会を、また、毎年9月30日時点の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上お持ちの株主様を対象に、「ミュージックステーション SUPER LIVE」の番組観覧を、それぞれ実施してまいりました。しかし、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の流行に関し予断を許さない状況が続いていることなどから、上記「株主様向け優待」については本年度も開催を中止とさせていただいております。（株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供につきましては、引き続きご案内させていただきます。）なお、来年度の「株主様向け優待」につきましては、今後の状況等を見極めつつ、改めてお知らせいたします。何卒ご理解のほど、よろしくお願い申しあげます。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する株式会社ロッピングライフの商品の中から、株主様を対象に、**厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。**
同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、**パンフレットおよび専用ホームページに記載の「通話料無料 ご注文専用番号」**にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しくご紹介しております。
ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、下記「通話料無料お問合せ専用番号」にお気軽にお電話ください。

お問合せ先
株式会社テレビ朝日ホールディングス
株主様ご優待 通話料無料お問合せ専用番号
0120-532-510
10時～18時
※日曜・祝日・12/30～1/3は除く

会社情報／株式情報（2021年9月30日現在）

◆会社の概要

商号	株式会社 テレビ朝日ホールディングス (TV Asahi Holdings Corporation)
設立	1957年11月1日
資本金	366億7,730万円
本店所在地	〒106-8001　東京都港区六本木六丁目9番1号
事業内容	株式等の保有を通じて企業グループの統括・運営等をおこなう認定放送持株会社

◆役員

代表取締役会長･CEO	早河　洋	取締役	手塚　治
代表取締役社長･COO	吉田　慎一	取締役	中村　史郎
取締役副社長	角南　源五	取締役(監査等委員)	佐々木克己
取締役	亀山　慶二	取締役(監査等委員)	池田　克彦
取締役	武田　徹	取締役(監査等委員)	弦間　明
取締役	藤ノ木正哉	取締役(監査等委員)	藤重　貞慶
取締役	篠塚　浩	取締役(監査等委員)	宮田　桂子
取締役	見城美枝子		

（注）見城美枝子、手塚　治、中村史郎、池田克彦、弦間　明、藤重貞慶および宮田桂子の各氏は、社外取締役であります。

◆株式状況

発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
300,000,000株	108,529,000株	19,046名

◆大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率(%)
株式会社朝日新聞社	26,151,840	24.73
東映株式会社	18,522,900	17.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,924,700	6.54
公益財団法人香雪美術館	5,030,000	4.75
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託大日本印刷口 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	4,030,000	3.81
九州朝日放送株式会社	3,333,500	3.15
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,629,400	2.48
公益財団法人朝日新聞文化財団	2,297,100	2.17
株式会社リクルートホールディングス	1,600,000	1.51
朝日放送グループホールディングス株式会社	1,572,000	1.48

（注）持株比率は、自己株式（2,794,985株）を控除して計算しております。

◆株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
(郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.tv-asahihd.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿への記載または記録の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

tv asahi テレビ朝日ホールディングス
〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03)6406-1115　URL https://www.tv-asahihd.co.jp/